

成田空港暫定平行滑走路が4月18日オープン

新滑走路が4月18日オープン



1番機の離陸を待つ暫定平行滑走路

成田空港の2本目の滑走路となる暫定平行滑走路が、4月18日(木)にオープンします。

新滑走路オープンにより、輸送力の増強や地域雇用の増加が見込まれるほか、空港アクセスの整備、国際物流機能の集積など、「地域と空港の共生」の進展に期待が高まります。

年間発着回数
が20万回まで可能に



暫定平行滑走路は、第1・2旅客ターミナルビルなど空港施設を挟んで、現滑走路(4,000m)の東側に平行して位置し、当初計画の2,500mより320m短い2,180mで4月18日(木)にオープンします。

新滑走路がオープンすることにより、成田空港の航空機発着能力は、現在の年間13万5千回から20万回へと約1.5倍に拡大し、国際線・国内線の新規乗り入れや増便が予定されています。

国際線・国内線が増便することにより、昨年の航空旅客数2千5百万人、航空貨物量160万トンも大きく増える見込みです。

また、空港関連産業の売上は今後1兆5,000億円から2兆3,000億円に増加が見込まれ、滑走路整備と併せて旅客ターミナ

ルビルでも能力向上と施設の改善、利用者サービスの向上が進められます。

地域社会の発展にも
大きな影響が



新滑走路のオープンは、わたしたちが暮らす地域社会にも大きな影響を与えます。

現在空港内で働く空港関連産業従業者数は約4万人。新滑走路がオープンすると、今後空港内だけで新たに2万人もの雇用が生まれると見込まれています。

さらに、雇用創出に伴って住宅関連をはじめ大幅な消費の増加が見込まれ、地域経済に与える波及効果も大きなものとなるでしょう。

また、発着回数の増加による貨物取扱量の急増に対応するため、「成田国際物流複合基地」が産業の創出を伴う物流の拠点として県により整備されます。それとともに国内外の企業が誘致されるな

ど、地域活性化への結び付きも期待されます。

国内線の充実と
アクセス整備に期待も



このほか、新滑走路オープンに期待を寄せる声はまだまだ聞かれます。

その一つは、国内線の充実による成田の観光をはじめとする経済の活性化です。発着枠の増加に伴い、国内線の発着割り当ても年間2万回(1日当たり54回)と大幅に増えます。これを生かして、全国各都市と成田を国内線で結び、全国から成田へ、成田から全国へと往来する人が増えることで、地域経済の活性化につなげようというものです。

二つ目は、空港アクセスの整備による空港需要の拡大です。成田と都心をつなぐ「成田新高速鉄道」の整備や、「北千葉道路」などの道路整備が進むなど、空港アクセスが整備されることにより成田空港に對する需要がさらに高まること期待されています。

暫定的に2,180mでオープンする新滑走路。成田空港に對する内外の期待が高まる中、1日も早く2,500mの平行滑走路の完成が待たれるところです。

成田空港のあゆみ

年	月	できごと
昭和41年	7	閣議で新東京国際空港(成田空港)が三里塚に決定
46年	2	第1次代執行
	9	第2次代執行、東峰十字路事件(警官3人殉職)
52年	5	鉄塔撤去抗議集会、反対派支援者死亡(東山事件)
53年	3	過激派が管制塔占拠、破壊
	5	成田空港開港
61年	11	第二期工事に着手
63年	3	開港以来の航空旅客1億人達成
	9	千葉県収用委員会会長がテロで重傷(その後、委員全員が辞任)
平成2年	1	運輸大臣が熱田派と初の対話
3年	5	運輸大臣が強制収用放棄を反対派に回答
	11	「第1回成田空港問題シンポジウム」を開催。以後15回開催
4年	12	成田空港第2旅客ターミナルビル供用開始
5年	2	開港以来の航空旅客2億人達成
	9	「第1回成田空港問題円卓会議」以後12回開催
7年	1	「第1回成田空港地域共生委員会」を開催 「第1回地球的課題の実験村構想具体化検討委員会」を開催。以後22回開催
8年	12	運輸省が「今後の成田空港と地域との共生、空港整備、地域整備に関する考え方」を発表。 「平行滑走路は話し合いにより2000年度内に完成させることを目標とする」を明示
9年	4	開港以来の航空旅客3億人達成
10年	5	運輸大臣が「成田空港問題の話し合い解決について」を閣議報告
	7	運輸省、空港公団が「地域と共生する空港づくり大綱」を発表し12月に最終とりまとめを行う
	11	成田市が「なりた自然郷構想」「成田市共生大綱」を策定
11年	4	成田空港早期完成促進協議会が10万人署名活動(最終的に26万人の署名を運輸大臣に提出)
	5	平行滑走路2000年度完成目標断念を発表 運輸大臣から空港公団総裁に成田空港の平行滑走路の整備に関する新たな方針が示される
	12	暫定平行滑走路工事を着工
12年	4	成田市さくらの山オープン
13年	2	開港以来の航空旅客4億人達成
	3	「地域と空港の共生に関する協定書」空港公団と周辺自治体が締結
	5	第1回「成田空港に関する四者協議会」を開催
	10	暫定平行滑走路工事が完成
14年	4	暫定平行滑走路の供用開始

国内線直行便が充実 ～成田空港がさらに便利に～

成田空港の発着枠が年間20万回に増加します。このうち2万回が国内線に割り当てられます。

国内線の便数は、週38便(2月現在)から当面週105便に増便されます。就航先は、現在の札幌、名古屋、大阪、福岡に、仙台が加わり5都市と結ばれます。

(成田国内線の運航ダイヤ)

成田⇄札幌(新千歳)(1.4便/日 3便/日)

	成田発	新千歳着	新千歳発	成田着
FRI	11:00	12:35	FRI	7:55
FRI	17:50	19:25注	FRI	13:30
JAL	18:30	20:05	JAL	14:30

成田⇄仙台(新規2便/日)

	成田発	仙台着	仙台発	成田着
FRI	10:00	11:05注	FRI	8:20
FRI	18:15	19:20	FRI	16:10

成田⇄名古屋(1便/日 4便/日)

	成田発	名古屋着	名古屋発	成田着
NAL	8:55	10:15	NAL	7:10
JAR	16:30	17:40	ANA	12:25
ANA	16:45	17:45	JAR	14:40
NAL	19:00	20:20	NAL	16:35

成田⇄大阪(伊丹)(2便/日 3便/日)

	成田発	伊丹着	伊丹発	成田着
FRI	16:55	18:05	ANA	8:00
JAL	17:55	19:05	JAL	8:40
ANA	17:55	19:05	FRI	13:20

成田⇄福岡(1便/日 3便/日)

	成田発	福岡着	福岡発	成田着
ANA	10:00	12:05	ANA	7:15
ANA	17:50	19:55	JAL	7:25
JAL	19:40	21:30	ANA	12:50

注：5月27日から運航

JAL = 日本航空、ANA = 全日空、FRI = フェアリンク
NAL = 中日本エアラインサービス、JAR = ジェイエア



国内線の増便で“成田”がますます便利に